

令和6年度事業報告書

(1) まちづくりの推進を図る事業

① 12回目を数える「さくらおろち湖まつり」を開催しました。飲食店舗も多くの出店参加があり、その他多くの催しも開催されました。また今回は初めての試みとして周辺施設を巡る「周遊バス」を運行しました。55名の方が乗車され、地域の賑の役を担えたことと思います。時折強風が吹く中、一部中止したイベントもありましたが、雲南市ウォーキング協会のウォーキングイベントとの同時開催もあり、約5,000名の来場者が訪れました。

② 水の縁推進事業

(観光交流促進事業、HP管理運営業務、奥出雲町尾原ダム周辺整備管理事業)

さくらおろち湖周辺において「体験プログラム」や「遠足の誘致」など、様々な上下交流事業を実施しました。また尾原ダム、志津見ダム周辺のイベントや催し物、周辺施設や地元住民の活動をホームページ・SNS・広報誌・メディア等を活用し、情報の発信を行いました。

③ 水の縁推進事業（景観・環境保全事業）

雲南市内の8団体（温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」、いずも八山椒（有）、大原森林組合、（一社）他力塾、さくらおろち湖をきれいにする会、木次乳業（有）、NPO法人ふる里雲南、雲南市シルバー人材センター）に加え地元住民の方々に協力をいただき、植樹帯及びさくらおろち湖周辺の草刈り、景観作物（キシツツジ・山椒等）の育成と管理、「トレイルランニングレース」のコース整備など、さくらおろち湖周辺の景観・環境保全整備を実施しました。

④ クレストゲート点検放流イベント事業（雲南市／奥出雲町）

尾原ダムクレストゲート点検放流に合わせて、地元出身歌手によるステージや各種イベントを開催しました。ボート広場等とイベント会場を結ぶシャトルバスを運行し乗車された方には大変好評でした。ただし今回はダム湖の水位が上昇せずクレストゲート点検放流は中止となりました。この放流イベントは奥出雲地域に春の到来を告げるイベントとして定着してきており、島根県内在住者を中心に2,500人を超える来場者がありました。

⑤ 雲南市尾原ダム周辺地域活性化事業

さくらおろち湖活性化ネットワーク会議を年2回開催し、地域住民・関係団体・行政とさくらおろち湖周辺の活動状況等を確認し、今後の取り組みや問題解決に向けた意見交換を行いました。4つの事業計画（①竹チップ事業、②山菜取り体験を周辺施設と組み合わせたマイカー事業、③菜の花鑑賞会、④焼き芋の会）が発表されました。また、今後はさくらおろち湖ネットワーク会議の規約を見直し、更なる事業推進を図って行きます。

(2) 社会教育の推進を図る事業

① 県民参加の森づくり事業（みーもスクール）

雲南市 1 校・奥出雲町 1 校、計 2 校の小学校に出かけ、島根の森林・林業を知る「竹・雑木林・人工林」をテーマとした自然工作や自然体験等の授業を各校年 3 回実施し、森林環境保全の大切さを理解していただくように伝えました。

② さくらともみじの植樹事業

自転車競技施設の植樹帯の下刈りを行いました。これまで植樹した桜が順調に成長しており、4 月にはきれいな桜が楽しめます。

(3) 学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動

① さくらおろち湖周辺スポーツ施設管理

自転車競技施設・ボート競技施設の管理業務を行いました。（施設内の消毒・清掃等）

② 尾原農村公園指定管理

尾原農村公園の管理業務を行いました。（グラウンド整備・清掃・草刈り・備品貸出し等）

③ ランバイク場管理・点検委託業務

ランバイク場「キッズバイクパーク Orochi」の看板の付け直し、及びランバイクの備品の管理と点検を行いました。

(4) 環境の保全を図る活動

① 企業 CSR 活動事業

斐伊川流域の企業と連携し、さくらおろち湖周辺の草刈り等の環境整備を年 2 回（7 月、9 月）実施しました。除草のほかクズのツルの除去が多く作業は大変でしたが、参加者の協力を得て大量の雑草を草置き場へと運ぶことが出来ました。

② 島根県企業局源流保全支援事業

森林が持つ水源涵養機能を高め、環境を保全することを目的として、木次スポーツ少年団や地域住民が参加するカエデの植樹を実施しました。今年度の植栽場所は広い土地でしたので、今年度から 3 ヶ年計画として植樹を実施して行きます。

③ 河川等美化事業・草刈事業

尾原農村公園下、斐伊川沿いの草刈りを実施し、景観保全活動を行いました。